

別紙 提出された意見の要旨と市の考え方(8人、44件)

分類	提出された意見の要旨	市の考え方
KPI(目標値)に関するもの	<p>1 この計画には、KPI(目標値)の目標年次が「2030年」と「2024年」の2種類があり、ゴールがいつなのか分かりにくい。 2030年を目標年次とするKPIは一枚にまとめて数字だけで記載して、2024年時点の目標値も明記するべき。</p>	<p>「SDGs未来都市計画」は、国から示された策定要領に基づいて、2つの目標年次のKPIを設定します。これは、選定された全ての都市で同じ方法です。 一つは、「2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール、ターゲット」の項目で、「2030年」となります。 二つは、「自治体SDGsの推進に資する取組」の項目で、2022年度(計画策定)から2024年度までの3カ年で取り組むため、「2024年」となります。</p>
	<p>2 PDCAサイクルはどのようにするのか。</p>	<p>この計画の評価は、各都市が毎年度末に進捗よく(KPIの達成度)を評価し、公表します。その中で課題等を検証し、必要に応じて改善していきます。また、国でも定期的に取組の進捗管理を行い、その達成度を明確にします。</p>
	<p>3 市民1人1日当たりのごみ排出量の目標が低すぎる。</p>	<p>この指標は「徳島市一般廃棄物処理基本計画」で定めているものを引用しています。実績や将来予測及び国の基本方針を踏まえ算出した数値です。</p>
取組に関するもの	<p>4 ごみの減量に対する具体的な案と計画がない。「市民一人一日当たりのごみ排出量」(2020年1018g、2030年838g、素案11ページ)、「リサイクル率」(2020年13.34%、2030年18.2%、素案18ページ)をどのように達成していくかの具体的な案がない。過去からほとんど変わらないリサイクル率は、早急に具体的な行動計画案が必要である。</p>	<p>個別の取組については、SDGsの理念を反映させて策定した総合計画を始め、福祉、環境、都市整備など政策分野ごとの計画に記載の具体的方策に基づき取り組んでいきます。 ごみの減量化、再資源化に向けては、「徳島市一般廃棄物処理基本計画」に基づく取組を推進するとともに、各家庭で簡単にできる減量策を紹介し、市民に実行してもらう「ごみ減量徳島市民大作戦」を推進していきます。また、資源ごみ回収事業奨励金の支給、電気式生ごみ処理機や「キエーロ」の購入費補助などを行っていきます(素案18ページ)。いただきましたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
	<p>5 ゴミをいまだに分別ができていない人がいるので、分別を徹底させてリサイクル率を上げていくべきだ。</p>	
	<p>6 私たちひとりひとりの意識や行動が気候変動を食い止める鍵になってくる。まず身近に出来る事は、生ごみ処理機の「キエーロ」を使う、雑紙を分別して燃やせるごみには出さないことである。これらをするだけで燃やせるごみの70%を削減でき、焼却費用の削減に大きな効果が期待できる。</p>	

分類	提出された意見の要旨	市の考え方
(前ページから続く) 取組に関するもの	7 徳島市専用のゴミ袋をつくる。素材、PSM(植物デンプン素材)製。デザインは小学生、中学生から公募することで若年層のゴミへの関心を広げる。社会人及びシルバー層へは専用のゴミ袋を使うことで分別意識を高め、ゴミ削減の行動も促す。	(前ページを参照)
	8 徳島市が説明する新町川。水のまちを全面にうちだしているとは思えないページ(Webページ)。新町川の歴史をきちんと紹介すべき。水質が悪化しヘドロが溜まった川が生まれ変わった歴史から、生活で排出するゴミのあり方を考える。	
	9 ごみ回収車を市民に親しみ易いように、車の外観を例えばアンパンマンに模様替え、音楽流すなど市民に公募してほしい。	
	10 町内会ごとに上勝町ゼロ・ウェイストセンターなどのような再生可能な資源ごみを集めるセンターを作ってほしい。そのセンターは、大きな木造の建物で覆い、和やかな雰囲気のある広場で、例えばペットボトルの出し方など学習の場となるように専門職の配置をする。また、その場で、資源ごみを引き取る業者を配置する。	
	11 リサイクルについて、他県では県や市がすでにジモティーを有効に使ってリユースし、粗大ゴミをできるだけ出さないようにしている。徳島県でもどんどん使してほしい。	徳島市では、消費生活センターにおいて、家庭で眠っている不用品の再利用を目的に「不用品活用銀行」を開設しています。
	12 布、服などの回収がない。関西では回収してリサイクルしていた。また、電池もスーパーや電気店などで回収があった。	徳島市では、多様な資源物の回収ルートを確保するとともに、市民の利便性向上を図るため、常設の資源物回収施設として「徳島市エコステーション」(城東町二丁目)を開設しています。この施設では、徳島市にお住まいの市民の方が、いつでも気軽にアルミ缶やスチール缶、古紙などの 21 品目の資源物を持ち込むことができます。古着、乾電池や廃食用油(てんぷら油)も回収していますのでご利用ください。なお、乾電池については、市の支所、コミュニティセンターのほか市内の各郵便局でも回収しています。
	13 てんぷら油の回収を検討してはどうか。少しだから良いと思い捨ててしまえば川も汚れる。固めて捨ててしまえばゴミが増え、燃やす燃料、CO2 も増える。飲食店の廃油も検討してはどうか。	

分類	提出された意見の要旨		市の考え方
(前ページから続く) 取組に関するもの	14	缶、ビン、ペットボトルが同じ日に一緒に捨てられている。他県は缶、ビン、ペットボトルを別々の袋に分けてそれぞれ別の業者が回収していた。ペットボトルも別の業者が回収。出す方から分けているので両者の負担が少ないと思う。労働力、コスト削減に繋がる。	家庭から排出されるごみの処理は、市町村が地域の実情等を踏まえて分別ルールを独自に定めることから、分別区分等に違いがあります。徳島市では、人口規模や収集体制を考慮して、びん・缶・ペットボトルを混合収集しています。
	15	プラスチックは破碎してもマイクロプラスチックとなり半永久的に残る。プラスチック製品の削減のアピールをすべき。	この計画では、地元民間企業と連携し、同社が製造する「100%植物由来で自然界に存在する微生物により海水中でも分解される製品」を活用し、カーボンニュートラルや地球環境の保全に貢献する取組を実施するとともに、こうした取組を環境教育や啓発等にも生かし、本市の「プラスチックごみ削減」につなげていきます。(素案18ページ)
	16	県民の環境への意識がまだまだ低いように感じる。学習会などをさらに開いてはどうか。	この計画では、市民団体が行う環境学習会の支援や地域や学校での出前環境教室の実施など、環境教育・環境学習を推進するとともに、市民環境週間行事を通じて環境保全活動に努めます。また、省エネ・リサイクル等に正しい知識を持ち、地球温暖化対策に取り組む市内小学 4～6 年生を子ども環境リーダーに認定し、次世代につなぐための人材育成・活用を進めていきます。(素案17ページ)
	17	ひょうたん島川沿いは歩きやすくてよい。歩く人も多いので環境に対しての看板なども利用できる。	
	18	県民の意識を高めるために、ビニールが有料になったように、ガソリンもSDGs税を作り高く設定してはどうか。自転車に乗る人も増えていくと思う。	
	19	タバコを吸う人が多いように思う。吸い殻を道や川に捨てないように徹底する。また、タバコの健康の害などアピールする。たばこ税を大幅に増やす。	空き缶やたばこの吸い殻などのごみが捨てられたり、犬のふんが放置され、まちの美観が損なわれないよう、徳島市では「ポイ捨て及び犬のふん害の防止に関する条例」を施行しています。快適な生活環境を保つため、市民一人ひとりが条例の趣旨を理解し、マナーとルールを守っていただけるよう啓発してまいります。
20	ドラッグストアやコンビニが非常に多く、フードロスもたくさん出て、事業用ゴミとして出されて燃やされていると思う。リサイクルをするシステムを作るべき。6人に1人が貧困といわれる現在、ゴミやCO2削減に加え、将来を担う子供にもよい。	食品ロス削減などへの対策として、宴会時での食べ残しを減らすための呼びかけの実施をはじめ、電動式生ごみ処理機や密閉式生ごみ処理容器の普及を促進し、家庭での生ごみの減量化・資源化を図ります。	

分類	提出された意見の要旨	市の考え方
(前ページから続く) 取組に関するもの	21 ごみ処理施設建設について現在広域で進められているが、本当に意味があるのか。広域からごみを一箇所に集めていっぱい大型車を使っていっぱい燃料を使って CO2 増やして、これは明らかに SDGs とは逆行している。さらに広域では非常に大きな処理施設が必要となり何でも燃やせ燃やせの考えとなって、リサイクル出来るものまで燃やしてしまう。コンポストのような循環型のごみ処理施設に考え直してほしい。	新たな施設では、リサイクルセンターを整備し、再資源化を進めます。また、熱回収施設では、ごみ焼却熱を利用した高効率発電を行うこととしています。その他、環境学習の機能を施設内に整備することで、ごみの減量化やリサイクルについての情報発信や啓発を図っていきます。こうした取り組みを進めることで、持続可能な資源循環システムの構築につなげていきます。
	22 北新町、南新町を高知県梶原町の隈研吾のように、できれば今のスペースの上に大きな木造の建物で覆い、ところどころで市民の憩いの場となるように、トリックアートなど和やかな雰囲気広場の広場や学習のスペースになるような新しい文化施設を作してほしい。	この計画では、文化・スポーツなど様々な市民活動等を通じて、誰もが心身ともに健康で充実した生活を送ることができるよう、アウトリーチの推進による文化芸術活動の振興やスポーツ・レクリエーションに関するイベント開催・情報提供による生涯スポーツの振興などに取り組んでいきます(素案 15 ページ)。
	23 コミュニティセンターごとに歴史、文化、学習、健康長寿のためのスポーツロジ(順天堂大学命名の新しいスポーツのあり方)、図書館などを備えた公民館を作してほしい。	
	24 小学校でもっと積極的に SDGs の授業をしてほしい。 また、積極的に子供の教育に投資をしてほしい。次世代を担う子供への投資により、出生率の改善や人口増加、そしてそれらの事が経済の発展に繋がり明るい未来が待っている。	この計画では、出前授業などを通じて、市立小・中学校、高等学校での SDGs 実践活動を支援し、学校における SDGs の取組の定着を図るとともに、人材育成につなげることとしています(素案 23 ページ)。
	25 ゼロカーボンシティを宣言すべきである。	この計画では「自治体 SDGs の推進に資する取組」として、「緑豊かな環境共生都市の実現」するため、「脱炭素社会の形成(地球環境の保全と向上)」を進めることとしており、まずはこれらに取り組んでまいります(素案 17 ページ)。
	26 かちどき橋近くの会社ビル等の大型電子掲示板が早朝から遅くまでついている。他県に比べ自動販売機が多いので、自販機の削減を進める。徳島城公園内には店の横に 10 台もの自動販売機があり、電気の無駄である。県庁、会社などが夜遅くまで電気をつけているところが多い。業者の協力も必要。	
	27 電車ではなく機関車なので排気ガスがひどく環境に悪い。駅あたりの空気が非常に悪い。	
	28 山や川は綺麗なのに街中に緑がかなり少ない。緑や花を植える運動をすべき。	

分類	提出された意見の要旨		市の考え方
(前ページから続く) 取組に関するもの	29	人口減少に対応するため、U・I ターンがしやすいまちづくりを行うべきだ。	この計画では、「人口減少」などへの対策として、本市を次世代へとつなぐことのできる持続可能なまちとするため、経済・社会・環境それぞれの側面における課題の解決を図り、魅力的なまちづくりを進めていくこととしております(素案 5 ページ)。
	30	徳島市に住み続けたいという視点も大事であるが徳島市に関わり続けたいという関係人口の視点も必要である。	
	31	地域資源として阿波踊りをより確立していく必要がある。	この計画では、持続可能な「阿波おどり」の実現に向けた取組を進めるとともに、阿波おどりの公演や資料展示を行っている「阿波おどり会館」の魅力向上や誘客促進を図るなど、徳島の宝である「阿波おどり」を通年で活用し、求心力のあるまちづくりに生かしていきます(素案 28 ページ)。
	32	民間企業としてどのように関わったら良いのか、事例が少ないうえ説明もなくわかりにくい。事例をつくりそれをなぞりながら説明できるパンフレットや動画を作成する。事例案として、徳島市に近接する眉山は「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定されているから、生息する生物の種類と数の調査を行い、年代別の推移を可視化し、気候変動による影響を理解するきっかけをつくる。眉山にある使われなくなった林道を整備し遊歩道をつくる。歩くことで市民が自然に触れることができる機会をふやし、里地里山への興味を深め、さらに健康促進を促す。徳島駅前から眉山山頂へのバスを運行するのも面白い。ロープウェイの活用活性につながる。運行するバスは中型水素バスであれば県とも連携がとれる。	本市では「徳島市 SDGs 公民連携プラットフォーム」を設置し、地域貢献活動や SDGs に資する取組を推進したいと考える民間企業等からの提案を募っております。地域の課題解決や地域活性化、市民サービスの充実に向けて、民間企業等が有する資源(アイデア、ノウハウ、ネットワーク、資金等)と本市の政策課題を結び付けた連携事業を実施しており、今後もこの枠組みを活用して SDGs に資する取組を創出することとしております。具体的取組につきましては、各企業の意向や実現可能性、持続可能性等を勘案しながら、徳島市 SDGs 未来都市実現協議会などで検討してまいります。いただきましたご意見は今後の参考とさせていただきます。
33	アミコのとても便利な場所にスペースが空いており、有効活用の方法を考えればさらに街が活性化されると思う。コロナ禍でみんなが集まる場所を必要としているので、無料か安価で貸し出しができる場所を作ってはどうか。		

分類		提出された意見の要旨	市の考え方
(前ページから続く) 取組に関するもの	34	徳島駅前界隈が汚くてがっかりした。いろんな工夫をして駅周辺も綺麗にしてみてもうどうだろうか。	徳島駅前、駅前広場は本市とJR四国が、市道は本市が管理しています。ご指摘の具体的な個所は分かりかねますが、今後とも関係部局において適切な管理に努めてまいります。
	35	環境のためにいろんな場所を走るコミュニティバスを増やして欲しい。	公共交通ネットワークの充実については、現状や課題、まちづくりとの連携などを踏まえた上で、関係部局において適切に対応したいと考えています。
推進体制に関するもの	36	徳島市 SDGs 未来都市実現協議会は、ひょうたん島エリアを中心とした SDGs モデル地区の形成のためだけに立ち上げるのか。それならそのように明記すべきである。	協議会は、産学官をはじめ多様な主体が参画して活動する会とし、「みんなでSDGsを実現する仕組みづくり」の中心に位置付けるものです。「中心市街地のひょうたん島エリア」での取り組みに限定されるものではありません(素案32ページ)。
スケジュールに関するもの	37	スケジュールに関して、ごみ減量(リサイクル率向上)がまったく反映されていない。また、自治体 SDGs の推進に資する取り組み(注:取組に関するスケジュール)がない。各担当課任せなのか。	素案43ページ以降の「スケジュール」は、国から示された策定要領に基づいて「2 特に注力する先導的取組」(素案26ページ以降)について記載することとなっております。そのため、「中心市街地のひょうたん島エリア」を中心に展開していくものだけの記載となります。
計画書の構成に関するもの	38	中心部だけを考えたの計画にした方が分かりやすい。例えば、2部構成で中心部とそれ以外に分けてはどうか。	「SDGs未来都市計画」は、国から示された策定要領に基づいて「1 全体計画」と「2 特に注力する先導的取組」の2章構成になります。 「2 特に注力する先導的取組」では、今後3年間に先導的に進める取組のうち地域の象徴的な取組の概要について記載することとなり、本市の計画では「中心市街地のひょうたん島エリア」を中心に展開していくこととしています。
情報発信に関するもの	39	若者に向けて SNS を通じて SDGs を発信していく。	本市では、紙媒体の「広報とくしま」だけでなく、ホームページ、Twitter や LINE といった各種 SNS を用いて情報発信を行っております。今後も若者向けだけでなく、全ての市民の皆さまに対する、より効果的な発信方法について検討していきます。
	40	市のホームページが見にくい、魅力にかける。ソーシャルメディアの活用が陳腐化している	
	41	毎月発行される広報とくしまがすっかり年老いている。	

分類		提出された意見の要旨	市の考え方
(前ページから続く) 情報発信に関するもの	42	ダイバーシティってなに？ この質問に徳島市として答える情報が充実していない。	「徳島市総合計画2021」では、基本目標の中に「誰一人取り残さない！希望あふれるまち」とくしまの創造」や「多様性を認め合える！個性あふれるまち」とくしまの創造」を掲げ、本市が考えるダイバーシティについてお示ししております。また、これまでもジェンダーギャップの解消や女性活躍の推進に取り組んできました。こうした取組については、随時「広報とくしま」や市ホームページ、市公式 SNS 等で発信しておりますが、よりわかりやすく発信できるよう努めてまいります。
その他	43	「概要版」でトクシィが説明しているが、(計画本体の)推進キャラクターはスダッチーズであり、キャラクター多すぎる。もともとトクシィは川に住んでいる設定なのだから、中心部で(取組を)を進めるのにはトクシィが最適である。今からでも変更すべき。	ご指摘の「概要版」は、パブリックコメント手続について説明した資料であると思われます。この資料は市民参加手続の全ての案件で共通した作風となるようトクシィを用いて制作しているものです。手続を実施するどの計画にも添付しているものではありませんが、いただきましたご意見は、今後の参考にさせていただきます。
	44	とくしま動物園について。動物園は情操教育の面からも意義のある施設であり、動物の飼育には高額の経費が掛かる。施設自体も旧来の物が多く、改修の必要も少なくない。目先の損得だけで見るのではなく、大切な財産を持続できるように考えてほしい。全国の動物ファンが行きたいと思うような改修をしてほしい。	とくしま動物園では令和4年度からキリンを迎え入れる準備として、キリン舎の増築工事を行うとともに、獣舎ろ過設備等の改修により飼育環境の充実を図っております。今後とも当動物園の設置目的である動物の研究及び動物愛護思想の普及啓発を行うとともに、市民のレクリエーションに資するよう運営してまいりたいと考えております。いただきましたご意見は今後の参考とさせていただきます。